

平成28年度



# ふくおかしの 家計簿

## 目次

### 予算とは?何に使っているの?

- 予算って何?平成28年度の予算は? ..... 01
- 収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は? ..... 01~02
- 市民一人あたりにすると? ..... 03
- 予算を「家計」に例えると? ..... 04
- どのような事業に使うの? ..... 05~08

### 福岡市の財政状況はどうかの?

- 借金はいくらあるの? 他の政令指定都市と比べるとどうかの? ..09
- なぜ借金が増えたの? 借金は何に使っているの? .....10
- 収入や支出はどうなってるの? .....11~12
- 福岡市の財政状況のまとめ ..... 12

### 福岡市の財政をどうやりくりしていくの?

- なぜ財政改革が必要なの? 行財政改革の取組みは? ..... 13~14
- うち、財政健全化の取組みは? ..... 15~16
- 平成28年度における財政健全化の取組みは? .....17~18

福岡市の  
平成28年度予算  
財政状況  
財政健全化に向けた取組み  
を紹介します!

福岡市の財政健全化に向けた取組みを  
漫画で分かりやすく解説しています!

福岡市 行財政改革 マンガ

検索

# 1 予算とは？ 何に使っているの？

〔この冊子で使われている数値は、各項目で四捨五入していることがあるため、合計などが一致しない場合があります。〕

## ●予算って何？

福岡市に1年間に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。つまり、みなさんが納めた税金などが、どのような事業にどれくらい使われるのかを示したものです。

## ●どのような予算があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために3つの会計（一般会計、特別会計、企業会計）に区分しています。

## ●平成28年度の予算は？（ ）は前年度

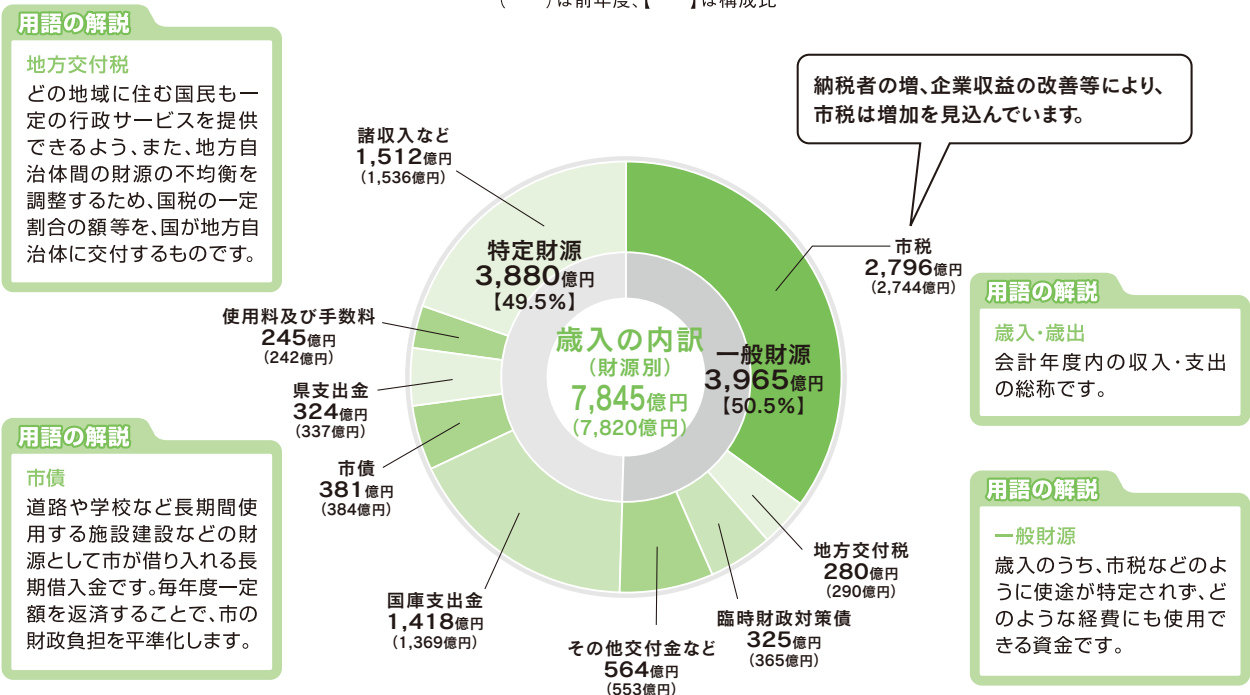
<b>用語の解説</b> <b>一般会計</b> 福祉、教育などの行政の基本的な事業を行う会計(予算の中心)です。	◎全会計	<b>1兆8,839億円</b> (1兆9,090億円)	前年度比 1.3%減	一般会計の予算は、過去最大の規模となっており、政令指定都市(20都市中)では、大阪市、横浜市、名古屋市、札幌市について5番目の規模です。
	◎一般会計	<b>7,845億円</b> (7,820億円)	前年度比 0.3%増	
	◎特別会計	<b>7,979億円</b> (8,784億円)	前年度比 9.2%減	特別会計は、使用料など特定の収入で、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。福岡市には現在15会計(国民健康保険事業、介護保険事業など)があります。
	◎企業会計	<b>3,015億円</b> (2,487億円)	前年度比 21.3%増	企業会計は、民間企業と同じように事業収益で賄われている会計です。福岡市には、現在5会計(モーターポート、下水道、水道、工業用水、地下鉄)あります。

## ●収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？

### ①一般会計の収入(歳入)

収入には、市税のほか国や県から交付されるお金や借入金があります。

( )は前年度、【 】は構成比

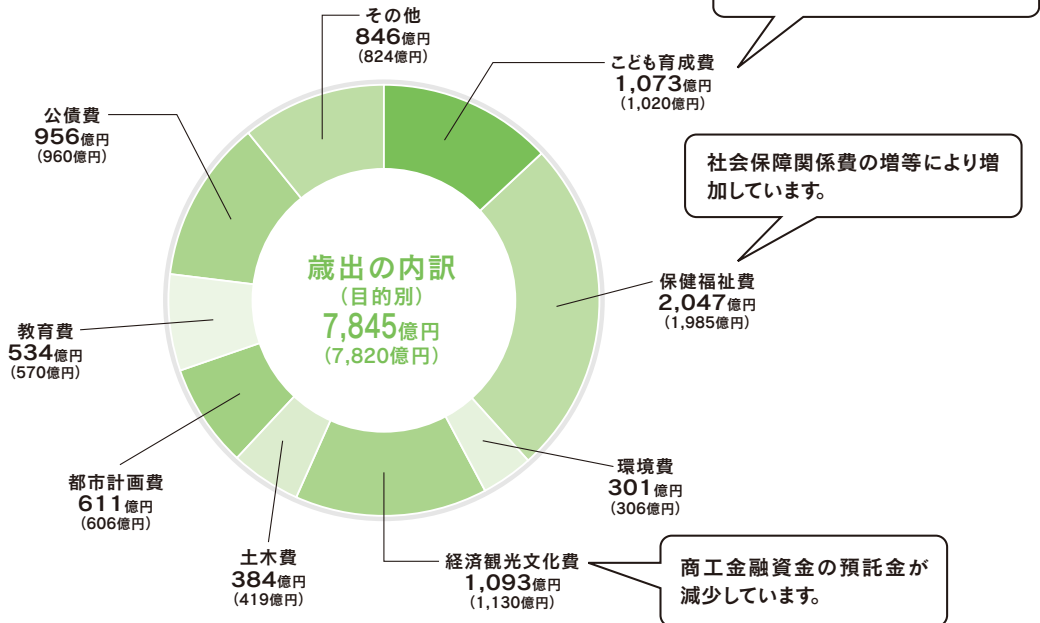


## ②一般会計の支出(歳出)

### 【目的別】

予算では、子育て、福祉など目的ごとにどれだけ使うのか定めています。

( )は前年度



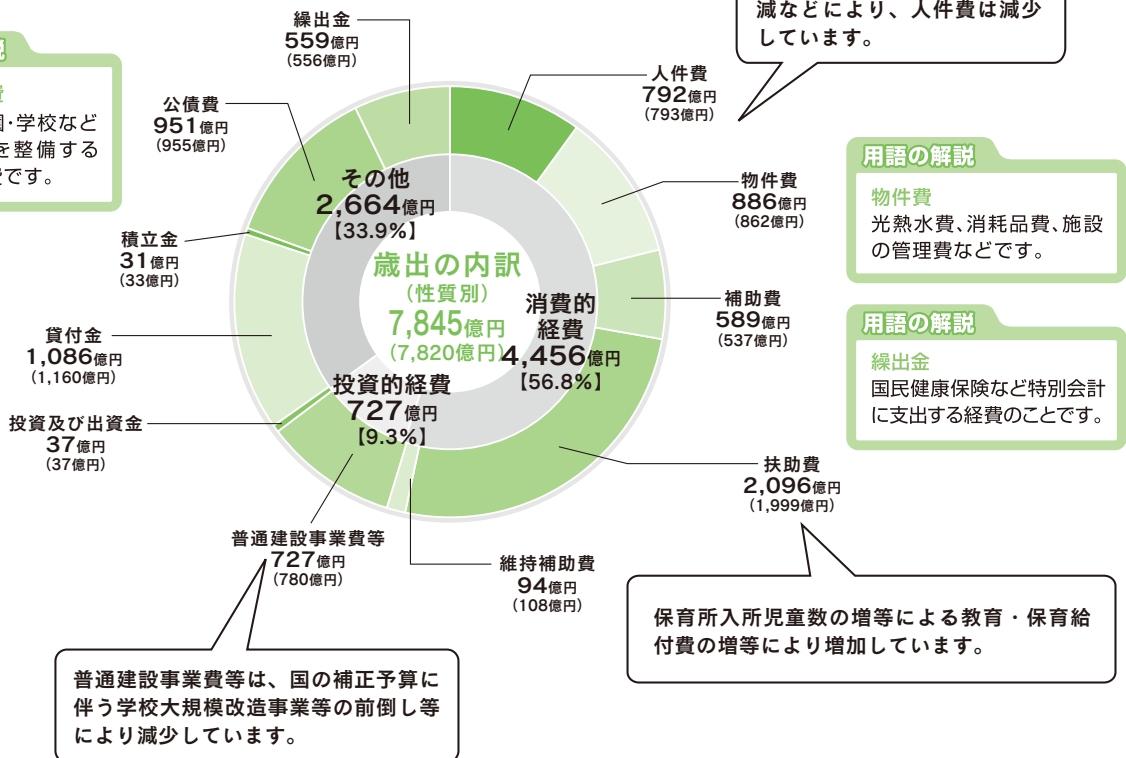
### 【性質別】

予算は、目的別だけではなく、人件費や物件費など性質による分類からどれだけ使うのを見ることができます。( )は前年度、【 】は構成比

#### 用語の解説

##### 投資的経費

道路や公園・学校など社会資本を整備するための経費です。



#### 用語の解説

##### 物件費

光熱水費、消耗品費、施設の管理費などです。













#### 用語の解説

##### 緑出金

国民健康保険など特別会計に支出する経費のことです。

## ●市民一人あたりにすると？

一般会計の予算を市民一人あたりに換算すると約52万円となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな施策に取り組んでいます。

	平成28年度予算			
	億円	市民1人あたりの予算		
		円	(%)	
 保健・医療・福祉に 2,061	137,332	(26.3%)	高齢者も障がい者も誰もが住みやすいまちづくりを進めます。	
 地域経済の発展に 1,202	80,103	(15.3%)		
 こどもの育成に 1,076	71,678	(13.7%)	新たな保育需要への対応など、健やかな子どもの育成に積極的に取り組みます。	
 道路・住宅・計画的なまちづくりに 816	54,367	(10.4%)		
 学校や教育に 616	41,009	(7.8%)		
 行政の運営に 547	36,445	(7.0%)		
 災害に強いまちに 426	28,395	(5.4%)		
 地下鉄・水道事業の支援に 343	22,833	(4.4%)		
 清潔なまちに 308	20,513	(3.9%)	地域コミュニティの活性化など、支えあいとつながりのあるまちづくりに取り組みます。	
 地域活動・文化・スポーツに 214	14,278	(2.7%)		
 公園整備や緑の保全に 130	8,656	(1.7%)		
 新鮮で安全な食料の提供に 106	7,084	(1.4%)	市民一人あたりの予算52万円は、20政令指定都市中、3番目の多さです。	
合計	7,845	522,693	(100.0%)	

※平成27年12月末現在の人口(150万955人)で割っています。

※( )内は、構成比を示しています。

## ●予算を「家計」に例えると？

一般会計の予算(7,845億円)を年間の収支が500万円(1月あたり41万6,000円)の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。  
諸手当のうち、地方交付税は、どの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。  
また、国・県支出金は、生活保護や道路整備など市の事業の一部を国や県が一定割合を負担するものです。

### ふくおか家・1カ月の家計簿

#### 《収入》

給与	32万円
（うち基本給 （市税などの自主財源） 諸手当）	18万9,000円 13万1,000円
銀行からの借入 （市債）	3万7,000円
貸したお金の返済金 （貸付金元利収入）	5万9,000円
<b>計</b>	<b>41万6,000円</b>

#### 《支出》

家族の医療費 （扶助費）	11万1,000円	} 義務的経費
ローンの返済 （公債費）	5万円	
食費 （人件費）	4万2,000円	
光熱費や通信費など （物件費）	4万9,000円	
家・車・電化製品の修理・買い換え （維持修理費、普通建設事業費）	4万4,000円	
家族への仕送り （繰出金、補助費）	6万円	
友人などへ貸すお金 （貸付金）	6万円	
<b>計</b>	<b>41万6,000円</b>	

ローンを5万円返済する一方、  
新たな借入は3万7,000円に抑えました。  
借金残高を減らす努力をしています。

家族の医療費(生活保護費などの扶助費)、  
ローンの返済(公債費)、食費(人件費)の3つは、  
「義務的経費」と呼ばれています。

これが多いのは、一般家庭のエンゲル係数(家計における食費の占める割合)が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。ちなみに、福岡市の歳出総額に占める義務的経費の割合は、48.9%となっており、政令市平均の52.8%と比べると、やや低い状態です。

## ●どのような事業に使うの？

福岡市の「住みやすさ」に磨きをかけて市民生活の質を高め、質の高い生活が人と経済活動と呼び込み、都市の成長を実現させ、都市の活力によりさらに生活の質が高まるという好循環を創っていくために、平成28年度は、成長の果実を子どもからお年寄りまで行き渡らせるため、以下の事業等を実施します。

## あらゆる世代が絆をつむぎ暮らしやすさを実感できるまち

### 子育て支援の充実

#### 子ども医療費助成制度

424,893万円

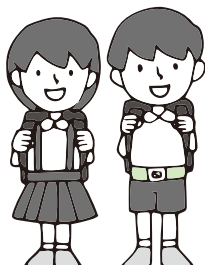
子どもの健やかな成長を願い、安心して医療機関で受診できるよう、通院は小学校就学前まで、入院は中学校3年生までの保険診療に係る医療費の自己負担相当額を助成します。

また、通院は平成28年10月診療分から対象を小学校6年生までに拡大して実施します。

入院	中学校3年生まで
通院	小学校就学前まで



入院	中学校3年生まで
通院	小学校6年生まで



#### 新たな保育需要への対応

323,228万円

新たな保育需要に対応するため、保育所の新設や小規模保育事業の認可など多様な手法により1800人分の整備を進めます。

また、保育所の増加等に伴い必要な保育士等を確保するため、保育士・保育所支援センターでの就職あっせんや就職支援研修の実施に加え、潜在保育士の再就職にあたって就職準備金や保育料の一部貸付等を行う事業を新たに実施するとともに、保育士等の心の悩みや勤務条件などを相談できる窓口を設置し、就労の継続を支援します。



(写真：小規模保育事業所の子どもたち)

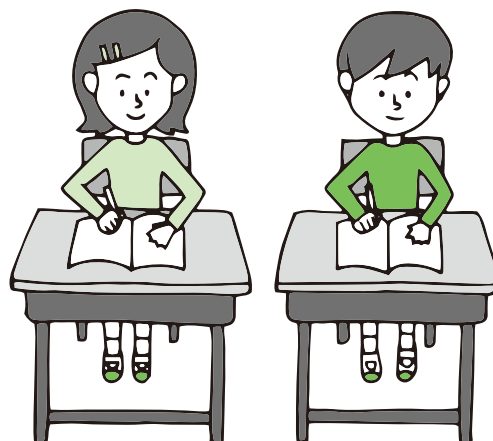
### 子どもの貧困対策の推進

#### 子どもの貧困対策の推進

240,030万円

貧困の状況にある子どもたちが健やかに育成される環境をつくるため、地域で子どもを見守り、支援につなぐネットワークの構築や、ひとり親家庭の保護者の就労に向けた職業訓練に対する貸付事業を行うほか、NPOやボランティアなどが行う食事の提供と居場所づくりへの支援などに取り組みます。

また、学校や地域における放課後学習への支援や、新たに、スクールソーシャルコーディネーターを配置し、学校・家庭・地域・NPO等との連携により、必要な児童に必要な支援を届けます。





## 教育環境の充実

### 小・中学校への空調整備

177,876万円

夏季における児童生徒の健康を維持し、学習しやすい環境を整えるため、市立小・中学校の普通教室に空調設備を整備しています。小学校は既に全校の整備を終え、中学校も平成28年8月に整備が完了する予定です。



### 国際教育礎プラン

3,050万円

小中高連携推進モデル地区において、カリキュラム作成、ICTを活用した授業など英語授業の早期化・教科化・高度化に向けた研究を進め、取り組みの成果を全市に広げます。



## 共創によるコミュニティづくり

### 共創によるコミュニティづくり

52,742万円

自治協議会と福岡市がパートナーとして、地域の未来を共に創り出していく「共創」の取り組みを推進するため、地域の絆づくりや担い手づくりへの支援を強化いたします。

また、地域活動を応援する企業や商店街等を登録・公表し、地域との連携を促進します。

大学生などが公民館とともに地域に向けた講座を企画・実施する取り組みを行い、学生の新たな発想を活かすなど、若者の地域活動への参加を促進します。



(写真:管理栄養士を目指す学生による子育て応援料理教室)

## 健康寿命の延伸

### 50歳、60歳代から始める認知症・ ロコモ予防

536万円

科学的根拠に基づいた保健指導ツールなどを活用し、要介護の要因として大幅な増加が見込まれる認知症やロコモティブシンドロームの予防に関する取り組みを、高齢期前から、重点的に実施します。

### 国民健康保険データヘルス計画に基づく 保健事業の推進

3,011万円

生活習慣病が重症化し、高額な医療費がかかる疾患のリスクが高い対象者へ重症化予防の保健指導等を実施します。

40歳、50歳の特定健診受診を無料にします。

# 新しい成長の種が生まれ育つまち

## 世界と繋がるスタートアップの街

### 外国人の創業支援

1,672万円

国家戦略特区における「経営・管理」の在留資格申請時の要件緩和を活用し、外国人の創業活動を促進します。

民間インキュベーション施設事業者や不動産事業者と連携し、福岡市内で創業する外国人を対象に、事務所や住居の賃料補助、情報提供などの支援を行います。

### FUKUOKA農山漁村地域スタートアップ 応援事業

640万円

全国の農山漁村地域でのビジネスの成功事例を地域・事業者など様々な主体がともに学び、交流するセミナー等を開催します。



## 新しいアイデアやサービスが生まれる街

### アントレプレナーシップ教育

1,825万円

地域や若手の起業家、各界の著名人による講話や、立志に関わる図書を活用することで、児童生徒が将来に夢や希望をもち、新しいことにチャレンジする意欲を育成します。

※アントレプレナーシップ教育:自分の将来に夢や希望を持ち、新しいことにチャレンジしていく意欲を育成する教育。



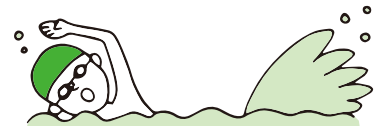
(写真:ジャーナリスト・元NHKアナウンサー 堀潤氏による「夢の課外授業」)

## MICEで賑わい、潤う街

### 国際スポーツ大会の招致・開催準備等

10,332万円

「ラグビーワールドカップ2019」及び2021年開催の「世界水泳選手権」の開催準備やキャンプ招致などを進めるとともに、新たな大会の招致にも取り組みます。



## 多彩な人が集うおもてなしの街

### 観光バスの受入環境の改善

3,780万円

クルーズ船の寄港数急増等を背景とした観光バスによる訪問先周辺の交通課題の解消を図るため、観光バスの受入環境の改善に取り組みます。

## いきいきとみんなが働く街

### 企業立地促進制度の実施

819,814万円

市の経済の活性化や雇用創出などのため、立地交付金制度を活用し、既存事業所の転出を防止するとともに、知識創造型産業などの成長分野の企業や本社機能の立地を促進します。



# 次の世代のために力強く歩むまち

## 未来に向けて生まれかわるまち

### 天神ビッグバンエリアの新たな魅力づくり 16,300万円

天神明治通り地区地下通路の民間整備への支援や天神ビッグバンエリアにおける新たな魅力づくりに向けた検討などに取り組みます。



## ウォーターフロントネクスト

### クルーズ船受入環境等の強化 105,398万円

クルーズ船の寄港回数の増加や大型化に対応するため、中央ふ頭での大型クルーズ船受入に向けた岸壁改良など、クルーズ船受入環境等の強化に取り組みます。

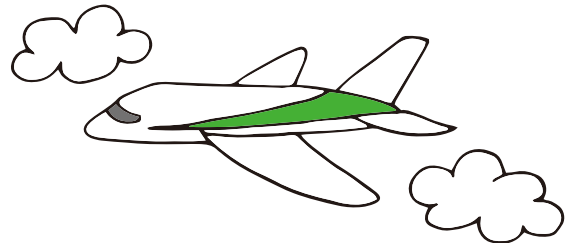
### 国内を代表するMICE拠点の形成 15,535万円

MICE関連施設が一体的・機能的に配置された拠点の形成を目指し、第2期展示場や新ホール等の整備や、ホテル・賑わい施設等の誘致に向けた検討を進めます。

## 身近な交通・物流機能の強化

### 空港機能強化の促進 118,298万円

福岡空港の混雑状況や将来の航空需要に適切に対応していくため、平行誘導路の二重化及び滑走路増設の早期完成に向けた取組みを国や県とともに推進します。



## 文化・芸術・スポーツ活動拠点の整備・充実

### 福岡市科学館整備 46,320万円

子どもの学力の向上と福岡の将来を担う人材の育成を目的とし、科学の原理や最新の科学技術を楽しく学べる、参加体験型の科学館を整備します。(平成29年10月開館予定)



(写真:福岡市科学館 基本展示フロアイメージ)

### 美術館リニューアル事業 16,728万円

施設の老朽化への対応と魅力向上のため、平成28年9月から美術館を休館し、大規模改修・リニューアルを進めます。(平成31年3月開館予定)

